

5. 生涯学習を推進するためのしくみづくり

施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	事業内容 (後期基本計画)	27年度事業予定	27年度実施内容	指標	27年度 目標値	27年度 実績値	自課評価 (A~E)	A.B.C.D.E評価の特記理由	24年度 実績値	25年度 実績値	26年度 実績値	27年度 実績値 (再掲)	28年度までの [累計]又は28 年度目標値	備考
(1) 情報の収集・発信機能の充実	ア 学習意欲の高揚	学習意欲の高揚	中央公民館	教室・講座の案内情報を発信します。	各地区公民館で広報いが市及びチラシで募集案内を行いません。	広報いが市、行政だより及びチラシで募集案内を行いました。(上野・いがまち・島ヶ原・阿山・大山田・青山)	箇所数	6	6	C		6	6	6	6	6	
	イ 多様なメディアによる情報発信	(ア) 公民館ホームページの開設	中央公民館	各地区公民館で行う講座・教室やサークル活動の情報を収集し、ホームページ開設のための準備を行います。	各地区公民館の担当職員のホームページ作成技能向上を図るための情報交換会を開催します。	各館で積極的にホームページを活用しました。	達成率(%)	95	95	C		60	80	95	95	100	公民館長会議等の機会に情報交換を行い、積極的なホームページでの情報提供の充実度をもって達成度としています
		(イ) 公民館情報紙の発行	中央公民館	公民館情報紙を発行します。	伊賀市公民館だよりを発行します。	各地区館の展覧会・発表会、サークル活動の情報、教室の開催実績を掲載しました。	回数	3	3	C		1	3	3	3	3	
	ウ 市民どうしの情報交換の機会づくり	市民どうしの情報交換の機会づくり	中央公民館	事業を通して、交流・発表の場の機会を提供します。	青山公民館：青山を元気にする会議の実施により組織された団体「あおやまキャラバン先生」は、市民同士の交流・情報交換の機会や、地域の子どもや親子を対象とした活動の場を提供します。	“青山を元気にする会議”で立ち上げた“あおやまキャラバン先生”が中心となり、定期的に地域との交流を持ち、地域の資源・自然を生かした体験活動をととして子ども達にふるさとの良いところを感じてもらえる機会を提供できました。	達成率(%)	95	120	A		30	60	90	120	150	事業内容との調整を図りながら、可能な範囲での交流・発表の場の機会の提供を達成率としています。28年度の目標値を100から150に変更します(H27)
	エ 情報収集機能の強化	情報収集機能の強化	中央公民館	各地区公民館で公民館情報を収集します。	各地区公民館でインターネットや広報を通じて活動情報を収集します。	新聞、インターネットや広報を通じて各地区公民館での活動情報を収集しました。また、今年度は各地区公民館業務の見直しについての情報収集に努めました。(上野・いがまち・島ヶ原・阿山・大山田・青山)	箇所数	6	6	C		6	6	6	6	6	
(2) 相談・支援体制の充実	ア 学習相談体制の充実	学習相談体制の充実	中央公民館	公民館活動に対するニーズを把握するとともに担当者間で情報共有し利用者等活動支援を行います。	公民館間の館長及び実務担当者レベルでの連絡調整会議を行うと共に、サークル活動に対する相談活動を行います。	適宜公民館間の館長及び実務担当者レベルでの連絡調整会議を開催し、調整を行いました。	回数	13	14	B		10	13	13	14	13	
	イ コーディネート機能の強化	コーディネート機能の強化	中央公民館	分館事業の相談・支援を行います。	上野公民館では、分館が行う事業について、相談や支援を行うとともに、会議・情報交換会を開催します。青山公民館では、定期的に分館長会議を行い連絡調整を行います。	上野公民館・青山公民館では、定期的に分館長会議を行い連絡調整会議を行いました。	箇所数	2	2	C		2	2	2	2	2	
	ウ 支援制度などの整備	(ア) 公民館サークル等への支援	中央公民館	事業を計画する際、会場の問題があるが、開催場所が市内の一部の地域に偏らないようにし、それぞれの地域の市民が足を運びやすい距離、場所の設定を行います。	事業実施にあたり、開催場所が市内の一部の地域に偏らないよう連携を図り、それぞれの地域の市民が参加しやすい場所の設定を行うため、各地区公民館で公民館使用団体登録を行います。	公民館使用団体登録の活用を促しました。またハイブピアでは、団体登録により、駐車料金の減免も行ない、市民が足を運びやすい、利用しやすい施設になるよう努めました。(上野・いがまち・阿山・大山田・青山)	箇所数	5	5	C		188	188	5	5	5	
				サークル協議会や文化協会への支援をします。	各地区公民館でサークル協議会や文化協会への支援を行います。	サークル協議会や文化協会へ補助金を執行するとともに、発表会・展覧会等にかかる支援を行いました。(上野・いがまち・島ヶ原・阿山・大山田・青山)	箇所数	6	6	C		6	6	6	6	6	

自課評価
 A. 充分に取り組みができた 120%以上
 B. かなり取り組みができた 105%以上～120%未満
 C. 取り組みができた 95%以上～105%未満
 D. あまり取り組みができなかった 80%以上～95%未満
 E. 取り組みができなかった 80%未満

5. 生涯学習を推進するためのしくみづくり

施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	事業内容 (後期基本計画)	27年度事業予定	27年度実施内容	指標	27年度 目標値	27年度 実績値	自課評価 (A~E)	A.B.C.D.E評価の特記理由	24年度 実績値	25年度 実績値	26年度 実績値	27年度 実績値 (再掲)	28年度までの [累計]又は28 年度目標値	備考
(2) 相談・支援体制の充実	エ 指導者の養成	(ア)リーダー研修の充実	生涯学習課	市民大学講座を開催し、さまざまな内容で参加者が自由に学習機会を選択して学ぶ場を設定し、指導者育成の研修の場として提供します。	生涯学習セミナーを開催し、さまざまな内容で参加者が自由に学習機会を選択して学ぶ場を設定し、指導者育成の研修の場として提供します。	平成27年度の生涯学習セミナーでは「万葉集と伊賀」をテーマにさまざまな内容の講演を開催しました。万葉時代の伊賀に焦点をあて、万葉集に詠まれた和歌や記載事項、当時の風習や歴史との関係から伊賀の特徴について考え、指導者育成の研修の場として提供しました。	回数	5	5	C		5	6	5	5	[25]	
			スポーツ振興課	研修会を実施します。	スポーツ推進委員並びにスポーツ指導者協議会及びスポーツ少年団指導者協議会等を対象に研修会を実施します。	スポーツ推進委員並びにスポーツ指導者協議会及びスポーツ少年団指導者協議会等を対象に研修会を実施しました。 スポーツ推進委員7回(参加者延べ70人) スポーツ指導者1回(参加者30人) スポーツ少年団指導者1回(参加者40人)	回数	6	9	A		5	6	6	9	6	
	オ 人材活用システムの整備	(ア)人材登録バンクの設置	スポーツ振興課	スポーツリーダーバンクを充実します。	スポーツリーダーバンク登録指導者の充実を図ります。 【改善点】周知、啓発により登録指導者数の増加を図ります。	スポーツリーダーバンク登録指導者数の増やすためスポーツリーダーバンクの周知広報を図りましたが、登録者数は増えませんでした。	人数	30	16	E	登録指導者の周知を図りましたが、増員には至りませんでした。	23	22	23	16	50	
(3) 生涯学習拠点の整備とネットワークづくり	ア 生涯学習センターの整備	(ア)生涯学習センター整備事業の推進	中央公民館	生涯学習情報の発信をします。	インターネットや広報を通じて生涯学習情報発信を行います。	インターネットや広報を通じて生涯学習情報発信しました。また、ハイトピアでは、掲示板やデジタルサイネージを積極的に活用しました。	達成率 (%)	95	95	C		—	80	90	95	100	情報発信の充実度を達成率としています
	イ 図書館の施設整備と管理運営の充実	(ア)伊賀市上野図書館施設拡張事業の推進	上野図書館	上野図書館と地区公民館図書室を一体とする位置づけ(分館化)について検討し、上野図書館を中核図書館とする施設整備を推進します	上野図書館及び分館の窓口対応を充実し、市民サービスの向上を図ります。また、施設整備及び管理運営について検討します。	上野図書館及び分館の窓口対応の充実と利用者サービスの向上を図りました。また、施設整備や管理運営についてアンケート調査や勉強会を開催しました。	回数	2	2	C		10	100	2	2	[10]	指標を「進捗率」から「図書館協議会開催回数」に変更しました(H26) それに伴い28年度の目標値を100から[10]に変更しました(H26)
	ウ 既存施設の有効利用	(ア)学校開放事業の推進	スポーツ振興課	市内全小中学校の体育施設を開放します。	市内全小中学校の体育施設を開放します。	小中学校の体育施設を開放しました。 体育館(小学校21校 中学校10校) 運動場(小学校21校 中学校10校) 武道場(中学校2校)	施設数	32	31	C		35	35	35	31	32	
	エ 施設の効果的運営の促進	施設の効果的運営の促進	文化財課	資料館において企画展を開催し、施設の効果的な運営を促進します。	柘植歴史民俗資料館、上野歴史民俗資料館で「昔の道具・くらし」などの企画展を実施します。	柘植では「伊賀市の文化財2015、東柘植のすてんしよ展、紡ぐ・染める・編む、柘植の工とこ自慢82話展」を、上野では「恐竜の世界と化石2015、伊賀市の逸品展」の企画展を実施する見込です。	件数	6	6 (見込)	C		4	6	6	6 (見込)	[20]	
			スポーツ振興課	指定管理による施設の有効管理・運営をします。	指定管理による施設の有効管理・運営の充実を図ります。	指定管理による施設の有効管理・運営の充実を図りました。 一括管理施設18施設 個別(5条指定)2施設 直営施設3施設	施設数	23	23	C		24	24	23	23	24	
			文化交流課	指定管理者制度導入により、包括協定書に基づき指定管理者が指定期間中における施設の管理運営に係る事業を一貫して行うことにより、適正かつ効果的な運営の促進を図ります。	指定管理者制度導入により、包括協定書に基づき指定管理者が指定期間中における施設の管理運営に係る事業を一貫して行うことにより、適正かつ効果的な運営の促進を図るため、随時調整会議をします。	指定管理者制度導入により、包括協定書に基づき指定管理者が指定期間中における施設の管理運営に係る事業を一貫して行うことにより、適正かつ効果的な運営の促進を図るため、随時調整会議をしました。	回数	12	3	D	会議回数を指標としたため目標に達していませんが、会議として開催しない連絡調整を随時行っており、適正かつ効果的な運営の促進を図っています。	24	12	3□	3	12	

自課評価
 A. 充分に取り組みができた 120%以上
 B. かなり取り組みができた 105%以上~120%未満
 C. 取り組みができた 95%以上~105%未満
 D. あまり取り組みができなかった 80%以上~95%未満
 E. 取り組みができなかった 80%未満

5. 生涯学習を推進するためのしくみづくり

施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	事業内容 (後期基本計画)	27年度事業予定	27年度実施内容	指標	27年度 目標値	27年度 実績値	自課評価 (A～E)	A.B.C.D.E評価の特記理由	24年度 実績値	25年度 実績値	26年度 実績値	27年度 実績値 (再掲)	28年度までの [累計]又は28 年度目標値	備考
(3) 生涯学習拠点の整備とネットワークづくり	オ 施設間のネットワーク化	施設間のネットワーク化	中央公民館	生涯学習センターを中心にネットワーク化を進めます。	生涯学習センターに生涯学習情報を集めると共に各ホール等施設(阿山・いがまち・青山)活用に対する検討を行います。	生涯学習センターに生涯学習情報を集めました。また、ホール等施設活用について、支所管内及び部内で協議しました。	達成率 (%)	70	80	B		30	50	60	80	100	ホール等の活用にかかる検討の進捗度をもって達成率としています。いがまち・青山では活発に検討会議が開催されていますが、阿山の検討は進んでいません。
			スポーツ振興課	指定管理者によるネットワーク化の推進をします。	指定管理者によるネットワーク化の推進を図ります。	指定管理者によるネットワーク化の推進を図りました。 一括管理施設18施設 個別(5条指定)2施設 直営施設3施設	施設数	23	23	C		20	20	23	23	20	
			文化交流課	4つのホールについて、統一的な文化振興施策の推進を図るとともに、各ホールの特徴を活かした事業展開を行います。	4つのホールについて、持続可能な文化振興施策の推進を図るとともに、生涯学習分野の教室、研修、発表等として、各ホールの特徴を活かした事業展開を行います。	4つのホールについて、持続可能な文化振興施策の推進を図るとともに、生涯学習分野の教室、研修、発表等として、各ホールの特徴を活かした事業展開を行いました。	回数	50	63	A		52	50	53	63	50	
(4) いつでもどこでも学べるしくみづくり	ア サテライト機能の充実 イ 柔軟な学習の場の設定	サテライト機能の充実 柔軟な学習の場の設定	中央公民館	サテライト型講座の実現性について検討します。	講師や教室を公民館間で広めていくとともに、生涯学習センターで開催する講座を録画したものを貸し出すことなどにより、サテライト型講座の実現に向けて取り組みます。	園芸教室や証券講座、フラビクス教室など、公民館間でソフト面でのサテライト機能は継続しています。	達成率 (%)	80	90	B		20	50	70	90	100	サテライト型講座実施にむけて想定される課題に関する検討の進捗度をもって達成率としています。
			生涯学習課	必要な場所に講師を派遣する出前講座を活用します。	三重県の出前講座の情報を、公民館を通じて希望する地域・団体に提供し、事業開催を支援します。	三重県の出前講座情報を提供した結果、上野公民館の悠々講座の1講座について出前講座を活用しました。 平成27年11月24日(火)ハイピア伊賀 悠々講座第6回「海女トーク」講師：小濱さん	回数	1	1	C		1	1	1	1	[5]	
			スポーツ振興課	いつでもどこでもだれでも参加できるスポーツの場を設定します。 *9クラブ	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を開催し、クラブ相互の情報交換を行います。 *7クラブ 情報交換会3回開催	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を開催し、クラブ相互の情報交換を行いました。 *7クラブ 情報交換会3回開催	開催数	2	3	A		2	2	2	3	2	
(5) 産学官民の協働の推進	ア 大学との協働	大学との協働	生涯学習課	大学と連携した取り組みを行います。	富山大学の協力を受け、生涯学習セミナーを開催します。	富山大学他2大学の協力を受け、生涯学習セミナーを開催しました。	回数	5	5	C		5	6	5	5	[25]	
			商工労働課	大学等と連携を図り、多様な学習機会の提供に努めます。	主に企業に向けた大学等のシーズ発表会やセミナーを開催します。 環境健康学研究会 2回 バイオマスセミナー 1回 産学官連携セミナー 1回 学校への出前講座 3回	大学等と連携を図り、小学生を対象に科学実験などを体験することも大学や、企業に向けた大学等のシーズ発表会やセミナーを開催しました。 こども大学 2回 健康科学食品研究会 2回 バイオマスセミナー 2回 産・学・官連携セミナー 1回 学校への出前講座 11回	開催回数	7	18	A		4	6	43	18	[69]	伊賀連携フィールドの所管課が総合政策課へ移管したことに伴い、28年度目標値を[111]から[69]に変更しました(H27)

自課評価
 A. 充分に取り組みができた 120%以上
 B. かなり取り組みができた 105%以上～120%未満
 C. 取り組みができた 95%以上～105%未満
 D. あまり取り組みがでなかった 80%以上～95%未満
 E. 取り組みがでなかった 80%未満

5. 生涯学習を推進するためのしくみづくり

施策項目	取組の方向	主な取組	事業実施課	事業内容 (後期基本計画)	27年度事業予定	27年度実施内容	指標	27年度 目標値	27年度 実績値	自課評価 (A~E)	A.B.C.D.E評価の特記理由	24年度 実績値	25年度 実績値	26年度 実績値	27年度 実績値 (再掲)	28年度までの [累計]又は28 年度目標値	備考	
(5) 産学官民の協働の推進	ア 大学との協働	大学との協働	総合政策課	大学等と連携を図り、多様な学習機会の提供に努めます。		上野商工会議所がハイトピア伊賀内に設置する「三重大学伊賀連携フィールド」を拠点として、三重大学、上野商工会議所、伊賀市が連携協力した共同研究活動や市民講座の開催等を行います。 忍者・忍術学講座 前期・後期各6回、特別講座1回 忍者・忍術学講座 in Tokyo 2回 古文書講座 6回 英語講座 6回	伊賀連携フィールドを拠点として、三重大学、上野商工会議所、伊賀市が連携協力し、共同研究活動や市民講座の開催等を行いました。また本年度はこれまでの伊賀連携フィールドの取組を総括するためのシンポジウムを開催しました。 忍者・忍術学講座 前期・後期各6回 特別講座1回 忍者・忍術学講座 in Tokyo 2回 古文書講座 6回 英語講座 6回 総括シンポジウム	開催回数	27	28 (見込)	C				27		伊賀連携フィールドの所管課が商工労働課から総合政策課へ移管したことに伴い、27年度から記載します(H27) 忍者・忍術学研究を核としつつ、今後他分野での連携・協働の可能性についても検討を行いたいと考えています。	
	イ 企業との協働	企業との協働	商工労働課	異業種交流会を実施(各種セミナー等)します。		異業種交流として各種セミナーを開催します。 産学官連携セミナー 1回 IGA地域情報交流カフェ 3回	異業種交流として各種セミナーを開催しました。 産学官連携セミナー 1回 IGA地域情報交流カフェ 2回 伊賀ブランド講演会 1回	開催回数	4	4	C		2	2	3	4	[10]	
	ウ 民間機関の活用	民間機関の活用	商工労働課	異業種交流会を実施(各種セミナー等)します。		異業種交流として各種セミナーを開催します。 産学官連携セミナー 1回 IGA地域情報交流カフェ 3回	異業種交流として各種セミナーを開催しました。 産学官連携セミナー 1回 IGA地域情報交流カフェ 2回 伊賀ブランド講演会 1回	開催回数	4	4	C		1	1	3	4	[10]	事業内容は「国県による各種給付金制度の周知及び活用を行う」としていましたが、給付金制度が廃止されたため「異業種交流会の実施」へ変更し、28年度目標値を[5]から[10]に変更しました(H26)

自課評価
 A. 充分に取り組みができた 120%以上
 B. かなり取り組みができた 105%以上～120%未満
 C. 取り組みができた 95%以上～105%未満
 D. あまり取り組みができなかった 80%以上～95%未満
 E. 取り組みができなかった 80%未満